

## 「レオレックス ナイト」に配合される『シーバクソンオイル』

グミ科の小低木になる果実、シーバクソンからとれるオイル「シーバクソンオイル」（和名：ウミクロウメモドキ種子油）は、中国やチベットでは約1200年前から栽培されており、薬効と治癒力の強いことでよく知られています。ビタミンCの含有量が非常に多いのに加え、ビタミンEとβ-カロチンが、フリーラジカルによるお肌のダメージ（肌サビ）を予防。また、パルミトオレイン酸やミネラルも含まれており、肌本来が持っている皮膚の再生効果を高めることができます。老化の防止・肌荒れの予防に最適の、将来性が期待されているオイルです。

\*パルミトオレイン酸は、人間の皮脂中に存在し、加齢とともに減少し、皮膚の老化と関係が深いといわれる。ぶりやまぐろのトロ、うなぎの蒲焼、マカデミアナッツオイルなどに多く含まれる。

## シーバクソンって何？

（別名：サジー、サンドロン、シーベリー、ヒッポファン、スナヂグミ）



シーバクソンはグミ科の植物で、中央アジアに位置するアルタイ山脈・モンゴルのステップ・チベットの高原を原産地とし、ヨーロッパには花粉が風に乗って、今から17000年前に渡ったといわれています。ドイツでは、紀元前13000～9800年、現在のブランデンブルク州周辺で広域に繁殖したことが分かっています。

土壌からの栄養を必要とせず、他の植物が育たないような土地に繁殖する特異な植物であり、エネルギーを土からではなく、太陽の光から吸収する特性を持っています。日光を極度に好み、日陰に対して非常に敏感なので、長い年月をかけ、新緑樹や落葉樹が広がっていく内陸を避けるように、まだ他の植物が生息していないバルト海沿岸やアルプスの山岳地域へと移動していきました。

耐寒性のすぐれているシーバクソンは、海岸や川沿い或いは高山地帯の砂漠に育成し、成長すると樹高2～4mになる棘のある風媒花植物です。5月頃に開花、受粉して0.4～0.9gの黄橙色の小果実が8月頃に生ります。収穫時期は8月から10月とされています。5年目に結果樹齢に達し、7～8年目に最も多くの収穫期になり、樹の寿命は約30年といわれています。

シーバクソンには190種類以上の栄養成分が含まれているといわれています。このシーバクソンの中にはビタミン6種類、脂肪酸22種類、植物性微量栄養素などの成分が多数含まれています。シーバクソンは昔から健康に良いとされた果実であり多くのミネラルを初めアミノ酸、ビタミンC、B、E、K、β-カロチン、SOD、リンゴ酸やクエン酸、フラボノイド、不飽和脂肪酸、微量元素など多くの成分が含まれています。

シーバクソンは、特にビタミン類が豊富なことから、「ビタミンの銀行」とも言われ、中国では「国宝」、またロシア人は「第2の人参」、香港・台湾人は「ミラクルフルーツ」といわれているサジーを飲んでます。また、ポリフェノールが豊富に含まれているということから食品の企業からも注目を浴び、栽培が盛んになってきました。